

貸与の期日を一括で変更

Note

フルフィルメントに関するすべての主な文書ページへのリンクは、[フルフィルメント](#)をご覧ください。

期日を一括で**変更**するには、次のいずれかの役職が必要です：

- フルフィルメント アドミン
- 一般システム管理者

[カレンダー](#)ビデオを視聴してください。

このセクションでは、オンデマンドで実行されるジョブの同じ日付レンジ（開始/終了）内に期限がある図書館内のすべてのアイテムの日付を**変更**する方法について説明します。このプロセスは、ステータスがアクティブで、リコールされていない貸与に適用されます。ステータスに基づいて期日を**変更**するためのその他の制限はありません。

Note

このジョブでは、貸出時のアイテムの場所を考慮します。

延滞貸与の未収金があり、貸与が延滞にならないように期日が**変更**された場合、罰金は却下されます。アイテムが返却される時、罰金は請求されません。この動作は、**overdue_at_change_due_date** パラメータによって決定されます。[その他の設定](#)を参照してください。

Bulk Change Due Dates Cancel

Administrative Change Due Date

Library *	Graduate Library	Location	
Material Type	Book	User Group	
From Due Date *		At(HH:MM)	
To Due Date *		At(HH:MM)	
New Due Date *		At(HH:MM)	

Change Bulk Due Date

1 - 9 of 9 Refresh 🔗 ⚙️

Job Id	Status	Creator	Time Started	Time Ended	Entitles Finished	Entitles Failed	
1 949207290000521	Completed Successfully	ex_Lmpl	2016/09/09 14:28:47 CDT	2016/09/09 14:28:53 CDT	23	0	...
2 949205930000521	Completed Successfully	ex_Lmpl	2016/09/09 14:28:15 CDT	2016/09/09 14:28:19 CDT	13	0	...
3 949204060000521	Completed Successfully	ex_Lmpl	2016/09/09 14:27:47 CDT	2016/09/09 14:27:52 CDT	2	29	...
4 949203240000521	Completed Successfully	ex_Lmpl	2016/09/09 14:27:21 CDT	2016/09/09 14:27:23 CDT	7	0	...

一括期日変更ページ

一括で貸与の期日を?更する場合：

1. [期限一括変更]ページ（[フルフィルメント]>[アドバンスツール]>[期限一括変更]）で、次の表の説明に従って、表

示されたフィールドに関連情報を入力します。

一括期日変更フィールド

フィールド	説明
図書館 (必須)	アイテムの期日を 変更 する図書館を選択します。
ロケーション	<p>指定した図書館内のロケーションを選択します（管理者が事前定義したリストから。物理的なロケーションの設定を参照）。ロケーションが選択されていない場合、ジョブは選択された図書館のすべてのロケーションを処理します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>アイテムのロケーションが変更された場合、Almaは、一時的であるか恒久的であるかに関係なく、貸与の時点でのロケーションを使用します。</p> <hr/>
資料タイプ	<p>指定された図書館内のアイテムのタイプを選択します。資料タイプが選択されていない場合、ジョブはすべての資料タイプを処理します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>アイテムの資料タイプが変更された場合、Almaは現在の資料タイプではなく、貸出時の資料タイプを使用します。</p> <hr/>
ユーザーグループ	期日を 変更 するユーザーグループを選択します。ユーザーグループが 選択 されていない場合、ジョブはすべてのユーザーグループを処理します。
期日開始 (必須)	<p>カレンダーダイアログボックスから開始日付レンジを選択し、必要に応じて、時間フィールドに時間を入力します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>対応する時間フィールドが指定されていない場合、時間は00:00にセットされます。</p> <hr/>
終了期日 (必須)	<p>カレンダーダイアログボックスから終了期日レンジを選択し、必要に応じて、時間フィールドに時間を入力します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>対応する時間フィールドが指定されていない場合、時間は23:59にセットされます。</p> <hr/>
新しい期日 (必須)	<p>カレンダーダイアログボックスから新しい期日終了日を選択し、必要に応じて、時間フィールドに時間を入力します。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>対応する時間フィールドが指定されていない場合、時間は23:59にセットされます。</p> <hr/>

- 一括期日変更を選択し、確認ダイアログボックスで確認を選択します。ジョブのリストとステータスは、ページ下部の表に表示されます。

[一括期日変更]ページには、実行された一括変更ジョブに関する情報を含む列が表示されます。次のテーブルで列に

ついて説明します。

一括期日変更

列	説明
ジョブID	ジョブの数値識別番号
ステータス	ジョブのステータス
作成者	ジョブを作成したユーザー
開始時間	ジョブが開始された日時
終了時間	ジョブが終了した日時
完了したエンティティ	期日変更が正常に完了したジョブ内のアイテム数
失敗したエンティティ	期日変更が失敗したジョブ内のアイテムの数

表示を選択して、ジョブのレポートを表示します。[ジョブレポート]ページが表示され、ジョブの詳細が表示されま

す。

The screenshot shows a 'Job Report' page for a job titled 'Change Bulk Due Date'. The job status is 'Completed Successfully'. Key details include: Process ID 949207290000521, Started on 2016/09/09 14:28:47 CDT, Total run time 5 Seconds, Status date 2016/09/09 14:28:53 CDT, and 23 records processed with 0 exceptions. Below the summary, there are 'Job Events' and a 'Report Table'. The 'Report Table' contains the following data:

Parameter	Value
1 Successfully updated due date to new due date	23
2 From Due Date	2008/01/01 24:00:00 CST
3 To Due Date	2016/08/01 23:59:00 CDT
4 New Due Date	2016/11/30 23:59:00 CST
5 Library	Science Library
6 Material Type	Book

「ジョブレポート」ページ

Excelにエクスポートを選択して、アナリシスのためにレポートデータをExcelにエクスポートします。

Note

1人のユーザーの貸与期日を手動で変更すると、影響を受けるすべての貸与について、貸与ステータス通知（Eメールの場合）またはアイテム変更期日レター（SMSの場合）が1件だけ作成されます。一括で期日を変更すると、影響を受ける貸与ごとにレターが1回送信されます。つまり、複数の貸与を持つユーザーは複数のレターを受領します。レ

ターのカスタマイズの詳細については、[Almaレターの設定](#)を参照してください。

期限一括変更要求ジョブは、期日が学期末を超えており、学期末まで短縮する必要がある場合に使用できる方法の1つです。詳細については、[\[Almaでの固定期日の「期間終了」イベントを追加または変更する方法\]](#)を参照してください。

Note

追加の通知が適用される場合もあります。たとえば、利用者の有効期限が切れて返却期限が短縮され、「返却期限短縮通知書」が発行される場合などです。
